

2016年講義内容一覧表(建築)

講義日	開始時間	講義時間	講義順コード	カリキュラムコード	講義概要	初級/中級レベル区分	講義区分※	講師(所属)
6/2 (木)	13:00~	1:30	1	K1	鋼材 建築市場における鉄構需要、建築構造用鋼材の種類 鋼材への要求性能と鋼材規格、新しい建築構造用鋼材、 地球環境問題への鋼の取組み	初級	1	一戸 康生 新日鐵住金(株) 建材事業部 建材開発技術部 部長
	14:45~	1:30	2	K3	都庁舎の構造設計、失敗例 構造設計、構造設計による安全確認、建築基準法 構造関連規定、建築基準法改定と関連法案の最近の改正 他	初級	1	林 幸雄 鹿島建設(株) 社友 SDコンサルタンツ所長
	16:30~	1:30	3	K6	構造部材 引張材、圧縮材、曲げ材 曲げと圧縮を受ける材	初級~中級	1	山田 哲 東京工業大学 教授
6/7 (火)	13:00~	1:30	4	K16	建物事例 構造計画から竣工まで	初級	1	人見 泰義 (株)日本設計 構造設計群 副群長 グループ長
	14:45~	1:30	5	K18	鋼構造の陸海空における新たな方向性 陸上/海上/空の鋼構造 ①将来の環境問題、CO2削減問題 ②鋼構造建築物の改修、コンバージョンのメリット	初級~中級	2	最上 公彦 (一社)海洋環境創生機構 専務理事
	16:30~	1:30	6	K17	建物事例 海外の鋼構造 1. 鉄の時代のはじまり(歴史的鋼構造の紹介) 2. 最近の鋼構造(過去5年程度の事例紹介) 3. 歴史的建造物の再生(上記1の時代の鋼構造の再生)	初級	3	柴田 育秀 Arup シニアアソシエイト ビルディングエンジニアリング リーダー
6/14 (火)	13:00~	1:30	7	K5	溶接接合 1. 鉄骨溶接概論 2. 溶接部の検査(試験)	中級	2	護 雅典 (株)竹中工務店 東京本店技術部 技術部長付
	14:45~	1:30	8	K4	接合部 高力ボルト接合部の設計 柱脚(露出・根巻・埋込)設計の基本	初級	1	松本 修一 大成建設(株) 設計本部 構造設計第一部 室長
	16:30~	1:30	9	K14	耐火 設計概念、耐火設計、耐火被覆、CFT無耐火、 耐火塗料、耐火鋼、火災事例	初級~中級	2	池田 憲一 東京理科大学大学院 教授
6/28 (火)	13:00~	1:30	10	K9	製作全般 建築鉄骨の製作に関する基礎知識(材料~製作~輸送)の習得 鉄骨製作工場の概要	初級	1	吉村 鉄也 (株)駒井ハルテック 技術課長
	14:45~	1:30	11	K15	維持管理と耐震補強 地震被害、耐震診断と補強	初級~中級	2	中村 幸悦 (株)織本構造設計 執行役員 第一設計部部長
	16:30~	1:30	12	K11	建方施工 鉄骨工事全般、建方計画、現場接合 特殊工法、機械化施工	初級	1	森岡 徹 (株)大林組 建築本部 品質保証室 室長
7/7 (木)	13:00~	1:30	13	K10	品質管理 品質管理、品質保証、不具合事例 ISO9000シリーズ	中級	2	福田 達夫 福岡大学 教授
	14:45~	1:30	14	K7	構造物の設計法 エネルギーの釣合に基づく応答評価法	中級	2	北村 春幸 東京理科大学 教授
	16:30~	1:30	15	K8	構造物の設計法 エネルギー法による免震構造と制振構造の設計		2	
7/12 (火)	13:00~	1:30	16	K13	ハイブリッド構造 概説、SRC構造、CFT構造 柱RC・梁S構造、鋼と木質またはガラスなど	初級~中級	2	立花 正彦 東京電機大学 教授
	14:45~	1:30	17	K2	架構形式 架構、ラーメン、ブレース、 鋼板、力と変形、ディテール	初級	1	向野 聡彦 (株)日建設計 フェロー役員 エンジニアリングフェロー
	16:30~	1:30	18	K20	特別講義:空間構造物語(海外の事例も多く含めて)	初級	3	斎藤 公男(さいとう まさお) 日本大学 名誉教授
7/19 (火)	13:00~	1:30	19	K12	薄板鋼構造物の設計 -関連する設計基・規準について- (考え方、適用上の留意点、最近の動向)	初級	1	小野 徹郎 名古屋工業大学 名誉教授 岡山女学園大学 教授
	14:45~	1:30	20	K19	ここに注意!鉄骨工事管理のポイント 鉄骨の工場製作、現場施工におけるチェックポイントを 実例をもとに解説する	初級	1	藤原 智 (一社)日本建設業連合会 前田建設工業(株) 建築事業本部 建築部 技術支援グループ 上級技師長

講義日程、時間等は講師のご都合により変更されることがあります。
予め、ご了承下さい。

※講義区分

- 1: 新人研修用プログラム
- 2: 中堅技術者への技術の伝承を主眼とするプログラム
- 3: 海外志向、展開を促すプログラム